

ポリリンプラチナホワイトニングC-AP説明・同意書

オフィスホワイトニングについて

- ホワイトニングは歯石や着色をとる行為ではありません。着色や歯石の付着がある場合には、対象部分のみクリーニングが別途必要となります。
- ホワイトニングの効果は永久的なものではなく、自然に少しずつ色が戻っていきます。この色戻りの期間には個人差があります。
- ホワイトニングの効果には個人差がありますので、人によっては1回のホワイトニングでは期待している白さにならないこともあります。
- ホワイトニング後に痛みや凍みが出るがありますが、数日で落ち着いていきますので、ご安心ください。減多にありませんが、鎮痛薬が必要となることもございます。
- 元々凍みがある歯にホワイトニングを行うと、凍みが増強されることがあります。
- かぶせものや詰め物などの人工物はホワイトニングでは白くなりません。
- ホワイトニングは歯の表側の面のみに行いますので、裏側の面は白くなりません。
- ホワイトニング対象の部分にむし歯やくさび状欠損がある場合には、施術後に痛みが出やすいため、ホワイトニングをお断りさせていただきます。
- ホワイトニングの液が歯肉につくと歯肉が白く変色してヒリヒリすることがございますが、数日で元の色にもどりますのでご安心ください。
- 無カタラーゼ症の方に対してのホワイトニングは行うことができません。
- 妊娠中・授乳中の方のホワイトニングは原則としてお断りしております。
- 神経を抜いた後に起こる歯の変色は、このホワイトニングでは白くなりません。変色歯専用のホワイトニングを別途ご用意しております。
- ホワイトニングの効果を客観的に評価できるようにするため、ホワイトニング前後で歯の写真を撮影させていただきます。
- オフィスホワイトニングをする際、対象部分にLEDライトを照射しますが、このLEDライトによって体には酸化ストレスがかかり、活性酸素が発生します。この酸化ストレス対策として、ホワイトニング時に高濃度ビタミンC点滴、または水素吸入を併用することが可能です。いずれも別途料金が必要です。また高濃度ビタミンC点滴の場合は別途カウンセリングと同意書が必要となります。

